



再掲載

開成営農経済センターからのお知らせ

9月に肥料・農薬の即売会を行います！！

～詳細は開成営農経済センターだより9月号にてお知らせいたします～

回覧の注文書等について

「秋期生産資材」「ラウンドアップ」「ネトラップL」「椎茸菌・器具・原木」「落葉果樹苗木」
※お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

農薬・資材等の自己取り日について

「野菜・果樹 秋肥料・農薬」「米出荷用紙袋・ゴム印」「保有米袋・バインダー紐」
「くず米用一空袋」「稲干ポニー」「JA 本職用土農具・小農具」
「ヤマトのはかり」「きえ太郎Z」

令和5年8月17日(木)・18日(金)・19日(土)

9:00～15:00 までに取りに来てください。

上記以外のご注文品は準備ができ次第、ご連絡いたします。

技術顧問の日 (園芸相談)	農業の専門家が農作業の相談に応じます。(金曜午後と土曜は不在です。) 5日・6日・12日・19日・26日・27日は不在となります。 (※上記以外は在席予定となっておりますが、都合により不在の場合がございます。)
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。(毎月第2・第4火曜日) 8月8日・22日となります。
棚卸の日	ご迷惑をお掛け致しますが、何卒よろしくお願い申し上げます。 8月31日(木)は棚卸のため、15時に閉店致します。 尚、コイン精米機は17時まで営業致します。

～作物管理情報～

——【か き】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

病害虫防除

8月上旬

○カキノヘタムシガ	ダントツ水溶剤	4,000倍	25g/水100㍓	収穫7日前	3回
カメムシ類	又は				
コナカイガラムシ類	スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	50g/水100㍓	収穫前日	3回
○うどんこ病	トップジンM水和剤	1,500倍	66g/水100㍓	収穫前日	6回

8月下旬

○うどんこ病多発園	トリフミン水和剤	3,000倍	33g/水100㍓	収穫前日	3回
-----------	----------	--------	-----------	------	----

灌水

肥大促進・充実のため、梅雨明け後に乾燥が続く場合は、1週間に1回程度灌水をしましょう。

——【温州みかん】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

病害虫防除

7月下旬～8月中旬

- 黒点病 ジマンダイセン水和剤又はペンコゼブ水和剤600倍 166g/水100㍓
収獲30日前 4回
- カイガラムシ類
チャノキイロアザミウマ コルト顆粒水和剤 3,000倍 33g/水100㍓ 収獲前日 3回
- ミカンハダニ メビウスフロアブル(劇) 3000倍 33ml/水100㍓ 収獲7日前 2回
- ミカンサビダニ
- アザミウマ類

8月下旬～9月上旬

- 黒点病 ジマンダイセン水和剤又はペンコゼブ水和剤 600倍 166g/水100㍓
収獲30日前 4回
 - ミカンハダニ ダブルフェースフロアブル 3,000倍 33ml/水100㍓ 収獲前日 1回
 - ミカンサビダニ 又はダニエモンフロアブル 4,000倍 25ml/水100㍓ 収獲前日 1回
 - チャノキイロアザミウマ エルサン乳剤(劇) 1,000倍 100ml/水100㍓ 収獲14日前 2回
 - ヤノネカイガラムシ 又はスタークル顆粒水溶剤 2,000倍 50g/水100㍓ 収獲前日 3回
- ※チャノキイロアザミウマ多発園ではスタークル顆粒水溶剤を散布する。

品質向上対策

- ①熟期促進を目的に、フィガロン乳剤の散布
満開後90日と110日の2回 3,000倍 300㍓/10a
- ②被覆資材の利用 敷設は8月中、取り外しは収獲前に行う
着色向上を目的の場合は、樹冠下に敷く(部分被覆)
着色向上と増糖・除草を目的の場合には、園内全体に敷く(全面被覆)

——【中晩柑】——

はるみ・不知火は、初秋の乾燥で細根が枯死しやすいため、水分ストレスを受けやすく、小玉、高酸果の原因になります。敷わらマルチ、ナギナタガヤの草生栽培により梅雨明け後から秋にかけての土壌の過乾燥を防ぎましょう。著しく乾燥が続く場合は灌水も検討しましょう。また、1果当たり100葉を基準に早めの摘果をしましょう。

特にはるみは着果量が多いと樹勢の低下や枯死の原因になりますので、樹冠上部1/3から1/4は必ず全摘果をしましょう。

——【レモン】*下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。——

病害虫防除

8月下旬～9月上旬

- ミカンハダニ ダブルフェースフロアブル 3,000倍 33ml/水100㍓ 収獲前日 1回
- ミカンサビダニ 又はダニエモンフロアブル 4,000倍 25ml/水100㍓ 収獲前日 1回
- チャノホコリダニ
- かいよう病 コサイド3000 2,000倍 50g/水100㍓
(薬害軽減のためクレフノン200倍を加用する)
- 黒点病
- ミカンハモグリガ エクシレルSE(注文取り寄せ品) 5,000倍 20ml/水100㍓ 収獲前日 3回
- アザミウマ類

※毎年黒点病が多い園ではストロビードライフフロアブル3,000倍(収獲14日前)を散布しましょう。

【水 稲】

水管理（高温障害の対応） 重要

出穂後20日間の平均気温が26～27℃以上の高温で推移すると、高温障害粒（乳白粒・心白粒等）が多発し、品質が低下してしまいます。

出穂前15日、出穂後10日間は水を切らさないようにしましょう。

その後は、根の活力維持のため間断かん水に努めましょう。35℃以上の異常高温が予測される場合は、掛け流しかん水をすることにより、圃場の気温が低下して被害を軽減することができます。

病害虫防除 8月上旬～中旬（出穂7～10日後）

○カメムシ類・ウンカ類 スタークル粒剤 3kg/10a 発生状況に注意しましょう。収穫7日前 3回

防雀網の設置 開花時に影響が無いように、出穂前に済ませましょう。

自然対策

豪雨の時 水口、水尻を閉め過剰な水路からの流入による倒伏を防ぎましょう。
泥水が入った場合には、すみやかに新鮮な水と入れ替えましょう。

強風の時 水口、水尻を閉め深水にして、風による倒伏を防ぎましょう。

【う め】

夏季剪定 8月中旬～9月中旬まで

縮間伐を行い周囲から光が当たるようにするとともに、立ち枝（覆う枝）の間引きで樹の内部まで光が入るようにして翌年の花芽の充実を図りましょう。8月中に終わると効果が高いです。

（小梅や樹勢が弱っている樹は、夏季剪定は控えめにしましょう。）

【キウイフルーツ】

夏季剪定終了後に発生した夏枝や、剪定した部分から出る新梢が巻きついた部分を取り除きます。
結果枝の葉を充実させ、果実へ養分が行きやすくなるために、新梢を伸ばさないようにしましょう。
※カメムシ発生時は、スタークル顆粒水溶剤2,000倍 50g/水100ℓを散布（収穫前日 3回）

乾燥防止対策

初期肥大の時期には土壌を乾燥させないようにしましょう（敷わら・灌水）

【お 茶】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。

土づくり

8月中旬までに苦土石灰120kgと有機物をできるだけ深めにすき込みましょう。

病害虫防除

8月上旬～中旬

○チャノミドリヒメヨコバイ ロディー乳剤（劇）1,000倍 100 ml/水100ℓ 摘採7日前 1回

チャノキイロアザミウマ

チャノホソガ

チャハマキ

チャノコカクモンハマキ

○炭疽病

オンリーワンフロアブル 3,000倍 33ml/水100ℓ 摘採7日前 2回

8月中下旬

○カンザワハダニ

ミルベノック乳剤 1,000倍 100ml/水100ℓ 摘採7日前 1回

整枝

一番茶以降、更新作業を行ってない園では、上旬をめどに整枝を行いましょう。

ただし、樹勢が極端に悪い場合は、整枝は行わないようにしましょう。

— 【く り】 *下線が引いてあるものは重要防除です。必ず防除を行いましょう。 —

病害虫防除

8月上旬

○実炭疽病 ベンレート水和剤 3,000倍 33g/水100ℓ 裂果前但し収穫14日前 4回

○モモノゴマダラノメイガ フェニックスフロアブル 4,000倍 25ml/水100ℓ 収穫前日 2回

干ばつ対策

土壌の乾燥を防ぐために敷きわらをしましょう。(※梅雨明け前後に)

※農薬名に網掛けがあるものは、購入時に印鑑が必要となります！

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

<注意>

「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。(前日は24時間前)

「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の防除について

スクミリンゴガイの発生が目立っています。この時期イネは食害されない大きさに育っていますが、非常に繁殖力が旺盛でまだまだ産卵時期が続きます。発生拡大を防ぐためにも対策をしましょう。

【対策】（薬剤散布と捕獲などを組み合わせて防除しましょう）

- 薬剤（スクミノン、スクミンバイト3）散布。貝が集まる深水部分への重点的な散布
- 貝の捕獲や卵塊の除去
- 水田の水口、水尻にネットを取り付け、水路からの侵入や隣接する水田への侵入を防ぐ
- 冬季に耕耘を行い、土中で越冬している貝を潰す

【注意事項】

- スクミリンゴガイには寄生虫（広東住血線虫）がいる場合があるためゴム手袋等を着用し素手では触らないようにしましょう。